

「かわにし事業ディスカッション2014(第2回)」アンケート結果の概要

と き	来場者(人)	アンケート回答者(人)	回答率(%)
9月28日(日)	5	2	40.0

アンケート結果の概要は、以下のとおり

1 男女比

性別	人	(%)
男性	2	100.0
女性	0	0.0
無回答	0	0.0
計	2	

2 住所

市内	市外	無回答	計
1	1	0	2

3 年齢(人)

10代	20代	30代	40代	50代	60以上	無回答
0	0	1	1	0	0	0

4 傍聴された事業

対象事業名(テーマ)	人
交通安全啓発事業	2
市民公益活動団体支援事業	2

Q1 何で知ったか

広報誌	ホームページ	知人	その他
0	2	0	0

Q2 事業調書について

わかりやすかった	わかりにくかった	どちらともいえない
1	1	0

Q3 説明者の説明

わかりやすかった	わかりにくかった	どちらともいえない
2	0	0

Q4 コーディネーター・公募市民の質問など

よかった	悪かった	どちらともいえない
2	0	0

Q5 時間配分

ちょうどよかった	長かった	短かった
2	0	0
わからない		
0		

Q6 次回以降の傍聴の有無

はい	いいえ	どちらともいえない
1	0	1

Q7 今後対象にした方がよいと思うテーマ・事業

ある	特にない	わからない	無回答
0	1	0	1

Q8 今回の事業ディスカッションに関するご意見、ご感想

市民メンバーから市民感覚を踏まえた意見がたくさん出て、その中でも新しい提案があり行政側の気づきにくい点が議論されることにより、事業の良い方向性が出そうに思いました。

市側は、実施済みの事情内容を市民メンバーへの事前説明で行えば、もう少し議論する時間が増やせるのではないかと思います。

交通安全啓発事業については、アイデアだとして、地域・事業者との連携、危機意識の向上、スマホ事故、ゆるキャラなど様々な視点が出されたので、次回への検討に活かせるのではないかと思います。

市民公益活動団体支援事業については、自治会の担い手、加入、情報発信についての話でしたが、なかなか打開策をまとめるのが難しいテーマだったと思いました。しかし、「自治会の運営をNPOに委託しては」「本音は深く関わりたいくない」など市民目線での話も出て、そこから課題を深く掘り下げることができたのではないかと思います。「もし～なら...どうですか」という意見が議論に有効性があると思いました。